

質問に対する回答

No.	質 問	回 答
1	整備に係る財源についてのお考えを差し支えない範囲でご教示ください。	現時点で、本市における整備に要する費用の上限値をお示しすることはできませんが、他市PFI事例等から想定される40億～50億円という費用を用意することは困難です。 また、国庫補助や起債については、可能な範囲で活用したいと考えています。
2	アイデアやソフト面について、基本的にはランニングやイニシャルでコスト的メリットを得ることが可能なものと理解してよろしいでしょうか。	整備費用・ランニングコストのトータルでコストの最小化を図ることが最重要課題ととらえています。そのためのアイデアについて、ぜひお聞かせください。
3	調査の対話内容に「整備費用、ランニングコスト」の提案が含まれております。対象の学校数が78校と全数の整備費を算出するには期間が短く困難と思われる。たとえば平均的なクラス数の学校をモデル校として、整備費用を算出したもの×学校数での提示でもよろしいでしょうか。	費用の算出方法について、特に決まりはありません。算出方法・根拠についてお示しいただいた上で、皆様の可能な範囲で算出していただければ結構です。
4	PFIやPPP手法と従来型の手法で比較する際に、職員人件費はどう捉えていますか。従来型手法では、発注の際の契約本数にもよりますが、膨大な事務量が発生すると想定されます。	本市で想定している、物品購入と動力源に係る工事について、検討段階のため現時点で発注をいくつに分けるかという具体的な数字は考えていません。ただし、ご指摘のとおり人件費、職員の労力を考えると、ある程度まとまった規模にて発注することが想定されます。
5	・本調査終了後、整備終了までの概略スケジュールをご教示ください。 ・工事期間の縛りもある中で空調機器の全校整備完了目標について市としての要望時期は御座いますでしょうか。	本年度中に整備方針を決定後、2021年の整備完了を目指すこととしていますが、それ以上のスケジュールは未定です。 工事期間に関しては、施工中の音などにより学校運営に支障がない限り、夏休み中の施工に限定するものではありません。
6	整備の目標が「2021年度までの整備」と記載されていますが2021年3月まで、または2022年3月までの整備完了でしょうか。	2022年3月までの整備を想定していますが、少しでも早めることが可能であれば前倒しを図っていきたくと考えています。 2022年3月までの整備完了が困難との提案をいただく場合、その理由等を対話の中でお聞かせいただきたいと思います。
7	室温の適正化範囲は、普通教室等で、廊下や下駄箱等の共通の場所は対象となるのでしょうか。	今回の室温適正化については、普通教室等の室内だけを対象としており、廊下・階段・昇降口など共用部分は対象外となります。
8	・冬は別の暖房装置を稼働させるので、今回の設備稼働は考えなくてよろしいでしょうか。 ・冷房をエアコンで行うことを想定されていますが、暖房はどのようにお考えでしょうか。	基本的に、全ての室にFF式暖房機器を整備しており、冬の間はそちらを使用することが前提です。 ただし、FF式暖房機器を含めたランニングコスト等と比較した際に、FF式暖房機器の代替となる冷暖房機器を整備し、夏季だけでなく冬季も使用することで全体費用を抑えることが可能となるようなご提案を排除するものではありません。
9	単相200Vの電気を使用する機器に限定されている理由を差し支えない範囲でご教示ください。	コストの最小化を考える中で、単相200Vの機器での整備という案を考えたものです。 整備費用及びランニングコストの最小化を図ることができるのであれば、機器に制限はありません。
10	単相200Vの機器にて整備した場合に、単相だとキュービクルからの電気のバランスが悪くなることも想定されるが、どう考えていますか。	イニシャルコストを少しでも抑えるために単相200Vの機器での整備案を考えたものです。 電源に関する部分について、専門的な見地からアドバイスやご意見をいただけるようでしたら、ぜひ対話の中でお聞きしたいと考えています。

No.	質 問	回 答
11	テスト設置されている空調機の能力について、部屋の規模に対して8kwと通常より低めの選定と思われます。機器能力の選定はどのような考えのもとで選定されましたか、また能力選定の根拠は？	最も暑い時期が夏休みであり、過去の気象データを見ると夏休み期間を除く時期の最高気温平均値は夏休み期間よりも低いこと、また設置済みの天井扇と併用することを考慮し、8kWの機器を設置したものです。
12	整備対象校のうち、現時点で都市ガスが供給されている対象校の数がわかっておれば、差し支えない範囲で、ご教示ください。	都市ガスの引込みを実施済みの学校は以下のとおりです。 城山小学校、加茂小学校、芹田小学校、三輪小学校、吉田小学校、城東小学校、浅川小学校、通明小学校、松代小学校、昭和小学校、柳町中学校、櫻ヶ岡中学校、西部中学校、三陽中学校、東北中学校、裾花中学校、篠ノ井東中学校、篠ノ井西中学校、豊野中学校（計19校）
13	本調査の結果、事業フレームで想定しておられる「物品購入による整備」方式について見直される可能性はあるのでしょうか。	物品購入による整備よりも整備費用・ランニングコストの最小化を図ることができる事業方式・事業フレームのご提案があれば、見直しを検討いたします。
14	PFIやPPPの活用を行う場合の事業期間はどのくらいの想定を考慮しておりますでしょうか。	事業方式・事業フレームが確定していないため明確にお答えできませんが、仮にPFIやリースとなると全体の事業期間は他の自治体の例と同等となることが想定されます。
15	リース方式の場合でもPFI同様に設備整備完了後の所有権の先行移転でもよろしいでしょうか。	所有権の先行移転に係るメリット・デメリットをお聞かせいただいた上で、検討していきたいと考えています。
16	「クール化プロジェクト」で実施予定の6～9月の普通教室等の温湿度計測データについても、本調査結果とともに公表されるご予定でしょうか。	温湿度計測データについては、長野県環境保全研究所の監修により分析を行い、最終結果がまとまるのは2月頃を予定しています。公表についてはそれ以降となります。
17	エアコンのテスト設置に関する調査・検証について、データの検証結果を公表していただけるのか。	データ計測を開始したばかりであり、現時点では公表できる段階にありません。今後の対話の中で計測結果がご提案内容を深めることに役立つようであれば、提供について検討させていただきます。
18	6～9月に冷房のない普通教室とエアコンをテスト設置した普通教室等で温湿度を測定されるご予定ですが、この測定結果に基づいて、対象校の選定等をされるという理解で良いのでしょうか。また、テスト設置したエアコンの電力消費量の計測は行う予定はあるのでしょうか。	温湿度測定結果に基づき、整備の優先順位等を検討する予定です。 テスト設置したエアコンの電力消費量について計測を行うため、電力計も設置しています。
19	実際に事業化された場合にどの学校から行うかの施工順位についてはどのような形で決定されますか。	現在進めております、各学校の温湿度調査結果を基に検討し、決定したいと考えています。
20	対話に使用する資料の様式及び枚数制限は、特にないという理解でよろしいでしょうか。	様式は定めておらず、枚数制限も特に設けておりません。
21	「サウンディング市場調査実施要領」p. 7/11の「10参考資料」の(3)、(4)は事前説明会で配布いただけるのでしょうか。	実施要領の記載が分かりにくかったかもしれませんが、容量・枚数が膨大となるため、個別にお申込みいただければ電子ファイルにて提供いたします。
22	空調の電源供給についてキュービクルの改造や各教室の配線等全ての学校について金額算定を行う資料はいただけますでしょうか。	実施要領に記載のある、学校施設概要一覧及び学校施設配置図・平面図についてはお申し込みのあった事業者様に提供しています。

※質問書によりいただいた質問及び事前説明会での質疑応答の内容です。

※質問書によりいただいた質問については基本的に原文のまま掲載し、事前説明会での質疑は要約して掲載しています。

※質問No. 3・11・17は、6月8日公表分以降の追加分となります。